

## 平成18年度事業報告

特定非営利活動法人 萩子どもセンター

### 1. 18年度めざしたこと

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む環境創りをめざす

### 18年度のテーマ「みんなの心をひとつにして」

18年度は、「おもしろかった。来てよかった。またあるの？参加したい。」と感じてもらえる活動、そのために、子どもと大人と地域が一体となった活動を目指して、1年間すすめてきました。

#### (1) 舞台鑑賞会に誘い合って参加し、みんなで楽しみましょう。

今年度は、ロバの音楽座の「愉快的コンサート」と風の子九州の「なんなんなんでマン」、それから、こどもまつりの内容の一つに舞台公演をを組み込んだ形にした、風の子九州の「風の子あそびやとっぴんしゃん」の3作品を企画、実施しました。会員が大事にしたい舞台鑑賞会を3回実施できたことはとてもよかったです。どの作品も生の舞台のよさを再発見、再確認できたとてもいい作品でした。今後とも、もっとたくさんの方に参加してもらえるよう声かけや企画の工夫をしていきたいと思えます。

(\* 詳しいまとは別紙)

#### (2) さまざまな体験を通して、子ども達が自ら考える力、判断する力、行動する力、そして、子どもも大人も互いに協力し合っていきましょう。

ストリートダンスは、今年も地域のイベントに参加しました。国民文化祭きらめき公募事業の「オレンジアーティストフェスティバル」では、萩市民館の大ホールで、大勢の方の前で元気いっぱい素晴らしいダンスを披露し魅了しました。高学年活動のサマーキャンプは、バンガローの宿泊がとても好評でした。阿武川で魚をとったり、釣りをしたりと自然の中で楽しいキャンプでした。

どちらも高校生が中心に活動がすすんでいますが、大人はある程度の枠組みが出来るまでアシストできれば、子どもが企画内容を考えて実行していることはとても素晴らしいことだと思います。自ら考え、判断し、行動し、周りの人への感謝の気持ちを忘れない、ステキな成長が見られます。また、参加した子どもたちにとっても有意義だったのではないかと思います。

ピヨピヨの会は、生涯学習課の家庭教育セミナーとの共催を試みました。広報の点で、とても情報が伝わり易かったです。春の移動時期は会についてのお電話や参加してみようと迷ってるお電話など、問い合わせが多いのがピヨピヨの会で、地域と密着した活動になっています。子育てミニミニ講座は、親子3代の参加や、おばあちゃんとお孫さん、お母さんと子どもなど、父親の育児参加を目的にした企画からの見直しの時期になっています。また、毎回、身近な方を講師にお招きして指導していただいています。3月に開催した企画では県の農林事務所のご協力をいただいて、専門の方の知識と技で内容がとても充実しました。

こどもまつり-秋の巻-は、今年もたくさんの参加で楽しいおまつりになりました。竹とんぼづくりや竹鉄砲づくりなど名人のご協力で作って遊ぶ楽しさを実感できて、昔あそびの伝承ができました。毎年参加の明倫小学校からも、こどもまつりの企画は続けて欲しいこと、学校としても3年生が引き継いでいきたいことの感想やご意見をいただきました。参加のネットワークをさらに広げていきたいと思えます。

### (3) 人が集まる、気軽にやってきてよかった。と言われる「萩子どもセンター」になろう。

ストリートダンスに新しい顔が増えたり、子ども劇場山口県センター主催の中高生交流会に萩子どもセンターからの子どもの参加が多かったり、ピョピョの会に延べ330世帯もの参加があったり、一つひとつの活動はとても参加した方にも喜ばれて、たくさん子どもだけでなく大人の笑顔にもであうことができました。少しでも子どもたちの成長過程の下地になり、大切な家族の絆を深める思い出の1ページになれたのではないかと思います。

対外的には県や他団体から事例発表の依頼があったり、視察に来られたり、山口県の将来像に関する意見聴取の依頼があったり、私たちが長年やってきたことがいろいろな方面で評価されました。また、賛助会員は、昨年より8口増えて活動へのご支援が広がりました。毎回「おやこニュース」をお届けして会とのつながりづくりを図りました。今後とも賛同の輪を広げる努力をしていきたいと思ひます。

一方、会員の会員数と世帯数は年度当初の8割近くに減少してしまいました。退会の理由は、「なかなか活動に参加できない。」がほとんどです。もっと、会員同士のコミュニケーションを高めていきたいと思ひます。

さらに、事務所移転という大きな出来事もありましたが、住み慣れた商店街を離れたくない思いと商店街の方のご好意で、同じ田町商店街内で移転できたことはとても有難いことです。

#### みんなの心を一つにして・・・

今、子どもを取り巻く状況が息苦しくなっています。

本当に手をつなぎあうことが大事な時代になっています。もっと、楽しく活動に参加する人の輪を広げていきましょう。

そのために、「今日の舞台観に行こうやあ。」「まつりに参加せん。」「一緒に実行委員しない？」・・・などなど、どんなことでも「声をかける」を大事にしていきたいと思ひます。

## 2. 事業の実施に係る事項

### (1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	受益対象者の範囲及び予定人数
舞台鑑賞事業	<p><b>舞台鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <p><b>・ 愉快的コンサート《ロバの音楽座》</b></p> <p>普段見たこともないような楽器やその音色に会場は釘付けになりました。小さい子どもたちまで、静かに演奏に耳を傾けていました。やさしい音色に心が癒された1時間半でした。</p> <p>また、会員以外の参加も多く、アンケートの回答もとても好評で、皆さんに楽しんでいただけたようでした。</p> <p><b>「楽しかった音楽座」 わんぱくサークル 津室宙太郎</b></p> <p>ぼくは、音楽座が始まってからいろいろな楽器の音を聞いて、変な音の楽器、おもしろい音の楽器、いろいろな楽器があるのでワクワクしました。そして、音楽座で作られた楽器は、からくり楽器みたいでおもしろそうでした。昔の楽器とかは、今の楽器のおじいさん、おばあさんにあたるけど、よくできているな～。</p> </li> <li> <p><b>・ なんなんなんでマン《劇団風の子九州》</b></p> <p>子どもから大人まで楽しめる笑いいっぱいの舞台でした。風の子の舞台らしく、休むことなく動き回るパワフルな演技で、子どもたちも必死に役者を追っかけていました。</p> <p>公演終了後の交流会でも、「なんでマンのポーズをもう1度教えて」のリクエストに、風の子さんに教えていただき、参加者みんな「なん なん なんでマン！」とポーズを練習して盛り上がりました。</p> </li> <li> <p><b>・ 風の子あそびやとっぴんしゃん</b> 《劇団風の子九州》</p> <p>こどもまつり-秋の巻-の内容に組み込んで、あそびのフィナーレを飾っていただきました。</p> </li> </ul>	5月14日 18:30～	サンライフ 萩	114人
		3月26日 18:30～	萩市民館 小ホール	88人
			10月15日 15:30～	J0Y201 イベント ホール
	<p><b>子ども舞台芸術小公演（フェスティバル）応援</b></p> <p>明木の母親クラブが主催のフェスティバル公演の搬入のお手伝いをしました。</p>			2人

子どもの諸活動支援事業	<p><b>高学年活動</b></p> <p>高校生4人と中学生3人の実行委員会で企画から運営をしました。どの企画も参加したみんなが楽しむことができました。高学年活動の参加をきっかけに、県内の中高生が集う交流会でも、リーダーとして眩しい位に活躍しています。</p> <p>7月 かき氷パーティー 8月 サマーキャンプ</p> <p>ユネスコパネル展手伝い</p> <p>10月 こどもまつり 下手人を探せ担当</p> <p>3月 おわかれ会 ボーリング</p> <p>県中高生交流会 (子ども劇場山口県センター主催)</p> <p><b>「お世話になりました」 有田悦子</b></p> <p>私は、この春から大学生になり、慣れない大学生活に四苦八苦していますが、高学年の活動で学んだ、人との付き合い方、友だちの作り方を生かし、たくさんの友だちを作りたいと思います。</p>	<p>7月 22日 事務所 8月 24日 川上阿武 ~25日 川公園 8月 26日 アトラス</p> <p>10月 15日 田町 3月 23日 ユーズボ ール 3月 28日 萩青年の ~29日 家</p>	<p>10人 22人 有志</p> <p>不特定多数 7人 11人</p>
	<p><b>ストリートダンス</b></p> <p>小学校2年生から高校3年生まで、幅広い年齢層の子どもたちが参加しています。</p> <p>参加した地域のイベント</p> <p>7月 田町土曜夜市 8月 夏まつり 七夕のつどい 10月 こどもまつり 11月 オレンジアーティストフェスティバル</p> <p><b>「ダンスを通じて」 女子代表 吉見菫子</b></p> <p>ストリートダンスはダンスをすることだけでなく、友達を増やす場でもあると思っています。小学生から高校生までみんなが仲良く年の差関係なくダンスを楽しんでいます。夏祭りの時の発表が主ですが、オレンジアートフェスティバルにも参加し、みんなであわせて一つのものを作りあげる！という気持ちにさせてくれるものでもあります。本番に向けてみんな一生懸命に練習し、お客様に観ていただいているという気持ちを学び、そして仲間と協力するということも学びとてもよい経験をしたと思っています。これからもダンスをやりたいという人を増やし、今までよりもっとすばらしいストリートダンスができると良いなとおもっています。</p>	<p>月・水 計66回</p>	<p>事務所 他</p> <p>延べ904人</p>

	<p><b>こどもまつり</b>  <b>春の巻</b>は、田町らくがき町に協力して、綿菓子やスタッフとして参加しました。  <b>秋の巻</b>は、【遊ぶ】【聞く・話す】【観る】【食べる】をテーマに開催しました。遊びの種類が豊富で、内容も充実していたので、子どもから大人、3世代が一体となって楽しめました。明倫小学校の3年生は今年も参加してくださり、運動会で踊ったよさこいで会場を盛りあげてくれました。また、まつりは続けて欲しいの感想をいただきました。  まつりをとおして、ネットワークを広げてお互いのつながりを深めることができました。</p> <p><b>「地域が元気」 劇団風の子九州 とっぴんしゃん班一同</b>  10月15日の公演ではお世話になりました。地域が元気に活動なさっているのを感じ、また大人と子どもが遊び合う空気の中で、私たちも良い出会いの場をもつことができ、本当に嬉しく、気持ちのよい時間を過ごせたと思います。皆様との出会いを糧に、これからも観る方と演じる方が共に元気になるようなお芝居をつくりつづけていきたいと思っています。</p>	<p>5月5日</p> <p>10月15日</p>	<p>ジョイフルたまち</p>	<p>不特定多数</p> <p>不特定多数 3000人</p>
<p>子育て支援事業</p>	<p><b>ピヨピヨの会</b> <b>担当 末武佳苗</b>  今年度のピヨピヨの会は、のべ300世帯以上の参加があり、たくさんの子どもの笑顔を見ることが出来ました。また、お母さん同士も子どもを遊ばせながらおしゃべりに花を咲かせていました。これからも親子の楽しい居場所を作っていきたいなあと思いました。</p> <p><b>本とあそぼう 全国訪問おはなし隊</b> <b>担当 伊藤京子</b>  当日は朝から雨が降り出し悪天候となりました。おまけのピヨピヨとして取組んでいたため、参加をとっても心配しました。案の定、親子の参加者は4世帯。明倫、椿西の学童保育の参加のおかげで形となりました。広報の仕方の問題定義となりました。  本の挿絵がペインティングされた車に本棚を取り付け、たくさんの本をつめてくださいました。車の側面が開き階段・フロアが出来上がり、小さな図書館となりました。天気がよかったら・・・と思わずにいられませんでした。読み聞かせは日ごろ学校に読み聞かせに参加している子どもセンター会員と講談社キャラバン隊長で2回していただきました。どちらの回も熱心に聞いてくれました。そのあとで読んでもらった本を手にとって楽しんでいる親子もいました。悪天候で夢のある本との出会いをたくさんの人に体験してもらえなかったことがとても残念に思いました。また、滞在時間をもう少し長くしてもらえるとゆっくりと本との出会いを楽しめるのではと感じました。</p> <p><b>家庭教育セミナーとの共催</b> <b>担当 伊藤京子</b>  前年度までの家庭教育学級を他団体との共催ということで、子どもセンターとしては幼児対象の企画に参加しました。今までピヨピヨやミニミニ講座の実施経験から提案をしました。11月2日にはおやつ作りの内容でピヨピヨの会に日程を合わせてもらいました。共催ということで情報がすぐに伝わり、広報もしやすかったように思います。</p>	<p>毎月第1.3 木曜日 10:00～ 11:30 年19回</p> <p>3月24日 10:00 ～11:00</p>	<p>萩市総合福祉センターほか</p> <p>福祉センター</p>	<p>延べ参加世帯 330世帯</p> <p>30人</p>

	<p><b>子育てミニミニ講座（家庭教育支援総合推進事業）</b></p> <p>父親の育児参加を目的に、身近な講師を招いて、親子で休日を楽しく過ごせる楽しい企画を実施しました。今年度も父親の参加がなかなか難しいことが実感させられました。親子で同じ時間を過ごすことで、思いがけない発見や感動を共有することができ、家族のエネルギーにして欲しいと思います。</p> <p>また、パート2では、県の農林事務所の全面的な協力をいただき、ネットワークの大切さを感じました。</p> <p>・親子でグッドサンデーパート1 「ピザづくりにチャレンジ！親子でアウトドア体験」 子どもたちは、自分で挽ぎ取った夏みかんを搾ってジュースを作りました。お父さんは窯作り、お母さんは生地作りと、お互いが協力しながら、賑やかな会話が弾みました。3世代で参加の家族もありました。</p> <p>・親子でグッドサンデーパート2 「竹工作とアロマ 親子でリラックスタイム」 講師：吉村 孝（竹工作） 須本愛子（アロマ） 協力：山口県萩農林事務所</p> <p>竹工作は、寒風の中、父子で竹楽器と竹プランターを作りました。お母さんはアロマのいい香りの中、ミニ勉強会とバスソルトを作りました。その後、親子で合流してから竹巻きホットケーキを食べました。自然の中で自然のものを楽しむ、うまくいかないことも多いけれど、心はホカホカ温かくなりました。</p>	<p>6月18日 9:00 ～14:00</p> <p>3月11日 9:00 ～12:30</p>	<p>萩青年の家</p> <p>萩青年の家</p>	<p>25人</p> <p>26人</p>
<p>子どもと文化に関する活動支援事業</p>	<p><b>おはなしやまんば（お話の会）</b> 月に1回のストーリーテリングの勉強会で4人のメンバーで続けました。山口のおはなしの会への参加も積極的にしました。各学校の読み聞かせで実践していますが、広く知ってもらうために発表会をという声も出ています。</p> <p><b>会員交流</b> 今年度は、具体的な交流会が計画できなくて未消化で終わってしまいました。</p>	<p>毎月第3 月曜日 9:30 ～12:00</p>	<p>萩市中央 公民館</p>	<p>4人</p>
<p>子どもと文化に関する活動広報事業</p>	<p><b>子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもまつり-秋の巻-で、パネルを作って活動紹介をしました。</li> <li>・ 防長青年館セミナー ガンパルフォーラムで活動紹介</li> <li>・ 山口県県政改革推進委員会で「NPOと行政との協働について」参考人発表をしました。</li> </ul>			
<p>子どもの権利条約推進事業</p>	<p>おやこニュースは年8回発行して、会の活動状況を協力会員や賛助会員に伝えました。 ただし、子どもの権利条約については紙面を使っての推進はできませんでした。</p>	<p>おやこニュース発行</p>		<p>年 8回</p>

その他地域との協働	田町らくがき町 土曜夜市 七夕のつどい LET OUR CHILDREN HEAR MUSIC IN HAGI実行委員 絵本カーニバル実行委員 萩焼まつり クリスマスイベント 劇団四季公演「王子とこじき」実行委員会	5月 7月 8月  10月  12月 1月		
-----------	--	--	--	--



## 2006年度活動いろいろ



今年度も活動報告にもあったように、いろいろな活動を行ってきました。どんな場面でも、こどもたちの生き生きとした表情が印象的でした。この子どもたちの輝きを大切にこれからも活動していけるといいですね。

